

NPO 法人日本平成村通信

No.227 発行:NPO 法人日本平成村 【Instagram】nihonheiseimura 【ホームページ】nihonheiseimura.org
 【Mail】npo-heisei@ccn.aitai.ne.jp TEL:0575-49-2855 FAX:0575-49-3735



▲酒井能道さん画

祝 二十歳の成人式おめでとうございます！



▲成人代表の言葉を述べる野村颯太さん

1月11日(日)、武儀生涯学習センターで武儀・上之保地域の「二十歳の成人式」が開催され、対象者30名のうち、22名が式典に参加しました。

当日は全国で大雪となり、武儀地域では昼頃から雪が降り始めました。式典では野村颯太さん(下之保・上野)が成人を代表して誓いの言葉を述べました。

式典終了後は5年前に封印したタイムカプセルの開封が行われ、手紙や思い出の品を手に参加者は思い出話に花を咲かせました。

また、今年も撮影ブースをつくり、背景布や小物を使って思い出の写真を撮ることができるようになりました。NPOの職員が撮影した写真は日本平成村のホームページで配付しています。

対象者の皆さんに配付したパスワードで入ることができる専用ページから、集合写真やスナップ写真を閲覧・保存することができます。



▲式典の様子

日本平成村ホームページ ▶



20歳成人を迎えて 成人式実行委員にインタビュー

① 20歳成人を迎えての心構え・抱負 ② 家族へのメッセージ ③ 家族からのメッセージ



野村 颯太 下之保・上野

- ① 成人としての自覚を持ち、周りの方々への感謝と地域を大切にすることを心をもって生きていきます。
- ② どんな時も自分の挑戦を支えてくれてありがとうございます。これからも仲の良い家族で楽しく過ごしましょう。
- ③ 成人おめでとうございます。ここまで様々な人に助けられた事に感謝し、自分の力で逞しく進んでいって下さい。これからも自分のまわりの人を大切にしていって下さい。(母)



西部 翔琉 下之保・殿村

- ① 人との関わりを大切にし自立した大人になる。
- ② ここまで育ててくれてありがとうございます。これから恩返しできるように頑張ります。
- ③ 成人おめでとう。これからも自分の「好き」を大切にすてきな人生を送ってください。まわりの人を大切に。出会いを大切に。(母)



石原 弥生 富之保・岩

- ① 家族に頼りきりの生活をしているので自立した生活を送れるようにします。
- ② 色々心配をかけることばかりだったと思うけど、いっぱい支えてくれてありがとう。これからも見守ってね。
- ③ おめでとう。20年間様々な出来事がありましたが、一つの大きな節目を迎えることができ、とても嬉しく思います。これからの人生、一つ一つの経験を大切に大きく羽ばたいて下さい。(父)



加藤 凜 上之保・名倉

- ① 大人として責任を持った行動が出来るようにしたい。今まで支えてくれた人たちに恩返しができるようにしたい。
- ② 今まで支えてくれてありがとう。これからも迷惑をかけると思うけどよろしくね!
- ③ 成人おめでとう。ここまで大きく成長した姿をとて誇りに思います。これからは自分の選択に責任を持つ立場になりますが、困ったときはいつでも周りを頼ってください。凜の未来が幸せに満ちたものであることを祈っています。(母)



自治会武儀支部あれこれ

『20歳の成人の皆様へ』記念品を贈りました！

令和8年二十歳の成人式のお祝いを、武儀生涯学習センターで受けられた新成人は、武儀21名、上之保9名の合計30名の方々です。武儀21名の中には外国籍の方が5名おられます。

地域の皆さんもお気づきでしょうが、武儀地域内に居住し働く外国籍の方は100名を超えています。この方々も大切な地域住民として自治会連合会武儀支部としてお祝いをさせていただきました。

記念品のマグカップ、今すぐには使わなくても、将来「あ、これ!」と見つけた時、20歳の頃に描いていた夢や友人の顔、そしてふるさと武儀の風景を思い出してくれる引き出しの一つになってくれるとうれしいと思います。おめでとうございます。ますますの飛躍をお祈りします。



武儀やまゆい保育園「げきごっこをみる会」開催

子どもたちはごっこ遊びが大好きです。

12月19日(金)毎日読み聞かせをしている絵本の中から、各学年が選んだ一番大好きな絵本でのごっこ遊びと季節の歌を元気いっぱい歌う姿を保護者の方に見ていただきました。

劇ごっこでは大勢のお客さんを前にしてビックリしたものの、先生や友だちといつものように楽しむ姿がありました。

年長児は体調不良で3人の欠席児がいたにもかかわらず、当日友だちの役も補う姿に感動しました。

保護者の方も子どもたちの成長を感じることができて温かい会となりました。



(上) 全園児・歌
「サンタクロースはどこだ」

(下) 3歳以上児・歌
「うさぎ野原のクリスマス」
「にんげんっていいな」



▲ 未満児「バルボンさんのおしごと」



▲ 年少・年中合同「ももたろう」



▲ 年長児「番ねずみのヤカちゃん」



▲クリスマスゴルフ



▲新感覚!風船バレー



▲インドア雪合戦



▲クリスマスクイズ大会



▲サンタの謎解き



▲クリスマスボーリング

アトラクション盛りだくさん! 対戦イベントで熱く盛り上がったクリスマス会!

12月21日(日)武儀生涯学習センター多目的ホールにて「2025 学センのクリスマスパーティー」が開催されました。

このクリスマスパーティーは2年前からこの時期に開催され、年々パワーアップしています。今回は以前よりあった射的や的あて、輪投げに加え「クリスマスボーリング」や「クリスマスゴルフ」が追加。さらに使える体の部位がくじ引きで決まる「風船バレー」や、使える防具をくじ引きで入手できる「インドア雪合戦」などの体を動かすイベントも実施されました。

参加した子供たちはアトラクションを楽しみ、くじ引きの結果をみて「やった!!これは勝った!」と喜んだり、手にした小さな盾を見て「何これ!?!」と驚いたりしながら、バレーや雪合戦を楽しみました。

ハロウィンイベントに続き、中学生ボランティアも参加し様々な場面でクリスマス会を盛り上げました。

今回のイベントでは運営ボランティアを募集し、2名の応募がありました。実際に参加した感想を聞いたところ、「子供たちと触れ合えて楽しかった」「また機会があったら参加したい」という声をいただくことができました。

子供用品リサイクル活動『むぎっこ eco プロジェクト』



8年前に始動した子供用品リサイクル活動『むぎっこ eco プロジェクト』。着られなくなった子供服や雑貨等を提供して頂き、欲しい方・使いたい方に無償譲渡する活動です。

昨年12月21日(日)、クリスマス会と同時に会場前等にて「ハピハピお下がり譲渡会」を開催しました。70~160サイズまでの子供服や文具、雑貨等を並べ、たくさんの方に利用していただきました。

イベント後はマルチメディア室(卓球台横)にていつでも見学できるようになっています。現在、子供服等の入れ替え中の為、受け入れは中止しています。提供して頂ける物がある方は、整理が完了しましたらNPO通信等でお知らせいたしますので、しばらくお待ちください。

支部社協たより

武 儀

関市社会福祉協議会武儀支部
 関市中之保 5443 番地
 武儀福祉センター内
 電話 090-2574-7996
 (月・水・金の 9 時から 15 時まで)

関市民健康福祉大会のあらましです

令和 7 年 11 月 9 日に開催された、関市社協法人化 50 周年記念「令和 7 年度関市民健康福祉大会」に参加しましたので、そのあらましを報告します。

(1) 表彰

武儀地区では、8020 表彰で 80 歳の 2 名が、優良な歯の 4 歳児が 1 名表彰されました。

(8020 とは、80 歳で、20 本以上の自分の歯を持つこと)

(2) 講演：精神保健福祉士 臼井潤一郎氏

テーマは「つながる」～地域共生社会の実現に向けて～で、なんとしても孤独や孤立を防止して、地域共生社会を目指さなければならないという内容でした。

そのために、個人としては生きがいが必要で、生きがいは、得意なこと、好きなこと、社会から必要とされること、収入が得られることから生まれる。

一方、一人暮らし等の人の周りの者は、心理的に一定の距離を保ちつつも、傾聴に留意し、相手の意思を尊重し、励まし、暖かい言葉をかけ、信頼関係を築くことが大切である。

(3) その他、社協の新マスコットキャラクターの発表や保育園児による鼓笛演奏等がありました。

<関市社会福祉協議会武儀支所※からのお知らせ>

次のような物品の貸し出しや受付けを行っています。詳しくは下記までお問合せください。

・①車椅子の貸し出し(無料)、②サロン用のゲーム類の貸し出し(無料)、③ボランティア活動保険の受付け、④食品寄付の受付け、⑤サロン用マイクセットの貸し出し(無料)。

関市社会福祉協議会武儀支所 臨時職員 堀江和臣



車椅子のイメージ

開所日時：月・水・金曜日の 9 時から 15 時まで

電 話：090-2574-7996 (上記日時のみ)

※関市社会福祉協議会武儀支所は、関市社会福祉協議会本部の出先機関で、
 関市社会福祉協議会武儀支部は武儀地域の住民団体です。

なお、支所と支部の所在地は同一です。

むぎ図書館だより

武儀地域の方によるオススメ本紹介 VOL. 7



「東京のと真ん中で、
生活保護 JK だった話」
五十嵐 タネコ (著)

現役女子高校生の家族が、生活保護受給者になった体験を描いたコミックエッセイです。

作者の五十嵐タネコさんは、当時東京都内で家族4人暮らし。病気がちだった父親が脳梗塞で働けない状態になり、母親と兄にも働けない事情があったので、五十嵐さん本人が働かなければ生活できない状況になってしまいます。

崖っぷちに立たされた学生生活を守れたのは、一家が生活保護を受給したからでした。

五十嵐さんの絵柄と、明るい描写のおかげですいすい読めるお話になっているのですが、本当に貧しく、精神的にもギリギリの生活だったことがわかります。

今、日本では9人に1人の子どもが貧困状態だといいます。かつての五十嵐さんを救ったように、生活保護が彼らの最後の砦になって欲しいと思いました。

下之保在住 ペンネーム 森林亭りんりん 40代

2月 休館日のお知らせ

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|-----------|----|----|-----------|----|----|
| 1 | 2 休館日 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 休館日 | 10 | 11 | 12 休館日 | 13 | 14 |
| 15 | 16 休館日 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 休館日 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |

学センクリスマスパーティー&ハピハピお下がり譲渡会の会場で、卓球備品購入のための募金を行いました。

皆さまからお寄せいただいた募金総額は2,710円となりました。

このたびはご協力いただき、誠にありがとうございました。



むぎっこ

武儀にかわいい仲間が増えました



お名前 石原 魁理 君

性別 男の子

生れ月 11月

地域 下之保

父 彰磨さん 母 三那代さん

☆お子様へのメッセージ☆

毎日幸せをありがとう♡